

3/2
県民福井

脱原発を訴えて 講演やパレード

福井の集会に50人

脱原発を訴える県内七団体
が中心となってつくる
「さよなら原発福井県集会
inふくい2015実行委
員会」は一日、福井市田原
一丁目のフェニックス・プ
ラザで、脱原発の集会「3
・11メモリアルアクション
―原発のない新しい福井
へ―を開いた。

福島原発事故を契機に毎
年、開催。県内を中心に約
五百人が集まり、原発問題

レイアウト・平林 靖博
住民運動全国連絡センター
代表委員を務める伊東達也
さん（福島県いわき市）に
よる福島の実状報告などに
耳を傾けた。

地質学を専門とする立
石雅昭・新潟大名誉教授は
「若狭湾の地震と活断
層」をテーマに講演。立
石教授は「若狭湾周辺は、
地震が多いとされる『近畿
トライアングル』の頂
点。地震の危険は高い」
と、原発立地の問題点を指
摘した。

会場では、原発に反対
するよう求め
る西川一誠知
事宛ての県民
署名への協力
も呼び掛け
た。

若狭湾周辺で原発を稼働する危険
性を指摘する立石雅昭名誉教授
福井市のフェニックス・プラザで



参加者は会
場周辺をパレ
ードし、脱原
発に向けて気
勢を上げた。
（布施谷航）